

No.16

2006
平成18年2月1日

新春の早朝 芦田川に集うカモ(御幸町中津原)

～急がれる子どもの安全確保～

主な内容

CONTENTS

12月定例会号

新春のごあいさつ	2
子どもの安全確保策	2
質問および答弁の要旨	3～7
一般・特別会計決算審査	7
意見書・請願の審議結果	7
神辺町との合併	8
議会ミニ知識	8

平成17年12月 定例市議会

新春のごあいさつ

議長 小川眞和

皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本市は今年3月1日に神辺町と合併し、人口約47万、面積約518km²の名実ともに備後の中核都市となります。現在、地方分権の進む中、自

己決定と自己責任による個性的なまちづくりに努めるとともに、安心・安全を重点施策に位置付け、市民と行政による協働のまちづくりを進めています。

市議会としては、皆様が安心して暮らせる福山市をめざし、議会活動を開催してまいります。その内容については「市議会だより」を通じてお知らせしますので、ご愛読をお願いいたします。

皆様にとりまして、実り多い年となることを祈念申し上げ、ごあいさつといたします。

平成17年第5回市議会定例会は、12月2日から20日までの会期19日間で開かれました。公共施設のアスベスト対策費や神辺町に係る引き継ぎ予算、職員給与改定などを盛り込んだ総額73億5,600万円余の一般会計補正予算案や、合併に伴う市議会委員会条例の一部改正案など147議案を原案どおり可決しました。

また、子どもの安全な環境づくり対策の強化を求める意見書案など5件の意見書案を可決しました。

この定例会では、各会派の議員が議案や市政全般について質問を行いました。これらの概要は、次のとおりです。

学生の登下校時の安全対策について、早急な取り組みが求められています。

こうした中で開けた12月議会では、全会派が子どもの安全対策や安全・安心の地域環境づくりなどについて質問しました。

子どもたちの安全確保策については、市議会全会派の共通認識のもと、急を要する重点課題としてとらえ、最終日には議員提案として『子どもたちの安全な環境づくり対策の強化を求める意見書』を全会派が一致して可決し、福山市議会の意思として、子どもの安全対策の強化にかかる政策の早期実現に向け、国会および政府の関係省庁に送付しました。

島市や栃木県今市市などで、幼い子どもを狙った殺害事件が相次ぎ、国民に衝撃と不安を与えました。いずれも下校中の小学生女児が犠牲となつたもので、小・中学生の登下校時の安全対策について、早急な取り組みが求められています。

また、議会の冒頭には、市長が特に発言を求め、「子どもの安全確保にかかわり、教育委員会を中心に関係部署が連携し、通学路の見直し、安全マップの作成、スクールサポーントボランティアや地域の方の協力による子どもの見守りなど、総合的な取り組みを進めている。現時点の対策として来年度から新1年生に防犯ブザーを配布、子ども対策を重点課題とし、全府を挙げて検討し、来年度予算に反映する」など、子どもの安全対策について積極的に対応することを明らかにしました。

子どもの安全確保策 ～全会派一致で意見書を可決～



質問および答弁(要旨)

18年度の予算編成(水曜会)

三位一体改革や社会経済環境などを考慮する中で、だれもが住んでみたい、行ってみたいと思えるまち「ふるさと福山」の新たな創造のため、教育、環境、協働、革新、活力、福祉、安心・安全をキー

フードとし、市長のカラーアピールした新年度の予算編成をしては。

答 新年度予算は、歳出全般の徹底した見直しを図り、駅周辺整備や(仮称)中央図書館を中心とした中央公園地区整備、(仮称)西部市民センター建設などの都市基盤整備、保育所・幼稚園の再整備や小・中学校の教育環境整備など、「ふるさと福山」の新たな創造に向け、積極的に取り組んでいく。

また、合併建設計画の着実な実施で、地域全体のレベルアップを図っていく。

◆関連質問

・18年度予算編成について

(公明党)

・新年度予算編成方針と国の三位一体改革の影響は (市民連合)



芦品広域農道

芦品広域農道(市民連合)

1997年に全線供用開始となった芦品広域農道は、2002年の調査で1日8000台を超える交通量が、今では1万台を超えると推察されるが、ひび割れなど傷みもひどい。北部地域の交通の要衝として住民要望も強く、市道への移管も視野に、改修の年次計画を示すべきでは。

答 芦品広域農道は、生活圏の広域化などから交通量が増大してきたおり、それに伴い至るところで破損が生じている。

これまで局部的に応急対応を行ってきたが、舗装面のひび割れなどが拡大し、維持管理に苦慮している。原因は、舗装の構成が農道としての設計基準であり、予想

②数値目標を設定した計画を立てることが重要と考えるが。
③第三次総合計画の評価と、その中で策定しているリーディングプロジェクト21の達成状況はどうか。

答 ①市民ニーズの把握について
②数値目標の設定については、分野ごとにできるだけ目標を設け、分かりやすい計画書にしたい。
③第三次総合計画ならびにリーディングプロジェクト21の達成状況は、一部継続中の事業もあるが、おおむね計画に沿った施策展開が

できていると考える。

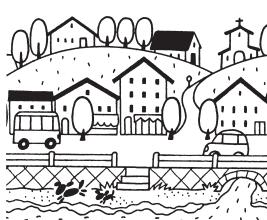
◆関連質問

- ・第四次総合計画策定に向けた基礎調査について (公明党)
- ・第四次総合計画の骨格・基本方針について (市民連合)

協働のまちづくり(水曜会)

問 市民と行政が協働し、市民が主体となつたまちづくりを進め

るには、政策形成過程での市民参加が必要では。



答 政策形成過程からの市民参加については、まちづくり指針策定懇談会の中意見も頂いており、まちづくりに関する積極的な市民

への情報提供ともあわせ、市民主体のまちづくりに向けて条件整備に努めていく。

基金については、継続的なまちづくり事業を推進するためには、

3億円に加え一定程度の増額が必要と考えている。また、地域、学区、NPO・ボランティアから提案されたさまざまなテーマによる提案型事業の審査には、公平性、客観性、透明性などを考慮するための審査機関が必要と考えている。

◆関連質問

・人材育成について（緑風会）

・協働のまちづくりについて（公明党）

・市域内分権を展望した、今後のまちづくり（市民連合）

・自治会組織との連携について（新政クラブ）

公益通報制度の導入（緑風会）

問 職員の通報・相談する制度、いわゆる公益通報制度が創設されることのことだが、どのようなシステムを考えているか。他市では、外部の法律事務所などを連絡先にしている例もある。くれぐれも職員の安心・安全が守られるような

システムを構築すべきと考える。

法化社会の到来した現代において、市政運営の基本は法令順守であると考えるが、本制度の導入でどのような効果が得られるか。

答 公務に携わる職員や請負契約などで市の業務を行う者が、適正でない事実を察知した場合に、速やかにその内容を通報することができる総合窓口を設ける。また、通報者の保護・安全に十分配慮する中で、調査と原因究明、改善策や再発防止策の構築など、速やかな対応が図れる制度を検討している。本制度導入により、公務に対する市民の信頼を確保し、公正かつ民主的な市政運営を図ることを狙いとしている。

介護保険制度（日本共産党）

問 ①介護保険法の改定により、10月1日から特別養護ホームなどの利用施設の食費、居住費などが、保険給付の対象から外れ、全額自己負担となり、利用控えが広がっている。政府に対しホテルコスト導入撤回を強く求めるところ。

また、全国で独自の施策を講じてきている例もある。くれぐれも職員の安心・安全が守られるような

用料減免制度を創設すること。
②来年度からの介護保険料の増額は行わないこと。



特別養護ホームでの食事風景

◆関連質問

・第3期介護保険事業計画について（水曜会）

・地域包括支援センターについて（緑風会）

・低所得者対策の充実と新たな利

サービスのあり方（市民連合）

「ふくやまテレコム」の問題（日本共産党）

問 ふくやまテレコムの取締役を収入役が務めていた事実は、兼業禁止を定めた地方自治法第142条に違反する。法適用の除外規定は自治体の出資比率50%以上の場合である。テレコムへの比率は22.2%であり、除外規定には当たりない。市長が、収入役を解任せぬ取締役の辞任ですませたことに市政不信は深まっているが、どのように考へているか。

また、これまでのテレコムの受託事業費の5%分を市に返還するよう求めるべきでは。

答 ふくやまテレコムに係る兼業は、法の趣旨にのつとり、長として判断した。これまで以上に職員の公務意識の高揚と服務規律の確保を図り、適正な行政運営を行っていく。

ふくやまテレコムとの委託金額は適正であり、5%の返還は求めない。

太陽光発電の補助（水曜会）

問 地球温暖化で長期的に気温



環境にやさしい太陽光発電

が上昇しているが、本市ではどのように考え、対応するのか。

また、太陽光発電に対して、1

キロワット当たり2万円の補助金を出しているが、今後の取り扱いはどのように考えているのか。

答 「福山市地球温暖化対策実行計画」に基づき、13年度から本年度まで、全庁一体となって電気や燃料、ガスなどの使用量の削減に取り組んでいる。

また、太陽光発電の補助は、12年度から市民の新エネルギーの利用を積極的に支援することにより、地球環境の保全と環境問題について、市民意識の高揚を図るため、補助事業を行ってきたところで、引き続き補助制度を継続していきたい。

今後の加茂支所のあり方 (水曜会)

（水曜会）

問 加茂地域において協働のまちづくりを推進するには、窓口業務だけでなくクリエイティブ、情報発信基地、地域の人々が集い交流し合える拠点としての整備が求められている。また、支所の外壁の亀裂や天井の雨漏りのしみ跡、クロスのはがれなど老朽化が目立つ状態になつており、支所機能について、今後どのように考えるのか。

答 加茂支所のあり方について、現在進めている地域内分権や協働のまちづくりの視点を踏まえ、全市的に支所体制を見直し、その中で検討していく。なお、公共施設の維持改修は、機能の確保や安全管理などを基本に取り組んでおり、加茂支所についても緊急性の高いものから随時修繕を行い、適正な維持管理と施設の延命化を図っていく。

スクールサポートボランティア事業 (公明党)

問 これから学校のあり方を考えるとき、地域、保護者の力をどのように生かすかが重要である。

地域、保護者の力を学校づくりに生かすスクールサポートボランティア事業の拡充をどう考えるか。



ボランティアとお手玉遊びをする子どもたち

答 各学校は状況に応じて必要なボランティアを募り、現在約4700人の登録をいただいている。今後の課題は、本事業の趣旨や活動内容、登録方法などの地域の方への周知、また学校とボランティアおよびボランティア同士の情報交換などである。今後も、各学校が必要に応じたさまざまな活動や授業などで、支援していただきボランティアを募るなど、事業の充実に努めていく。

人権推進行政 (水曜会)

問 12年度には、同和対策関係予算が14億3000万円余り計上されていたが、この5年間の関係予算の推移は。

ティアなどへの支援策と総合的な安全対策を（市民連合）

子育て支援 (公明党)

問 援助を必要とする1歳未満の子どもを持つ家庭への訪問事業である育児支援家庭訪問事業の取り組みについて、今後の課題をどのようにとらえているか。

答 この事業は、出産からおむね1年程度までの養育者のいる家庭を対象に、訪問による育児の指導・助言などを行うものである。市民への周知が不十分な面もあり、事業の趣旨をPRしていく必要がある。家庭訪問によって課題が認められた家庭については、出産から1年程度ということに限定せず、継続して保健師などによる訪問指導を行っていく。

また、学力向上地域支援事業、地域活動推進事業（奨学金、高齢者手当等扶助費などの制度）が残つ

ているが、今後の方針は。

答 同和対策関係予算のこの5年間の推移は、「基本方針」実施期間の初年度である13年度が約12億円、以降年次的に減額となり、最終年度の17年度では約1億8000万円と、初年度に比べ約15%となっている。

また、同和奨学金、高齢者手当など同和地区を対象要件とした事業については、17年度をもって廃止とし、今後は相談事業など必要とされる施策を一般対策として適宜・適切に実施していく。

◆関連質問

- ・2006年度以降の同和対策・人権行政（市民連合）
- ・同和・同和教育行政について
（日本共産党）

県史跡 二子塚古墳（緑風会）



出土した双龍環頭柄頭

部の発掘調査も行つてはどうか。

さらに、市道が古墳の上を通り、崩落の危険があるとも聞いている。市道の位置を変えるなどして、一刻も早い保存対策が必要と考える。将来的には一帯を古墳公園として整備してはどうか。

答 史跡指定については、古墳の上を通る市道が大きな課題であり、前方部の石室調査とあわせて、関係機関および地元関係者と協議しながら対応していく。二子塚古墳は全国的に見ても貴重な古墳であり、国指定への取り組みを進め、保存活用を図っていく。

ると考へる。

また、今後のスポーツ施設の充実策はどうなっているのか。

針が決定された。そこで、国土交通省が整備する植生基盤上に、ヨシ苗等の植栽などを市民と行政が協働して取り組み、市民の川の浄化に対する関心を高めるきっかけとしてはどうか。

活用してはどうか。

答 国は今年度末より一部で試験的に整備に着手している。その際、植栽の実施や維持管理などを地域と協働して行うことが、市民の関心を高め河川浄化を一層進める方法と考える。



たけがはな
竹ヶ端運動公園

また、本施設は水生生物などの増加も見込め、芦田川環境マネジメントセンター、川に学ぶ体験活動推進協議会と共同して、子どもたちの自然体験学習の場として

答 スポーツ振興基本計画については、第四次総合計画に合わせて策定していく。スポーツ施設の充実については、アジア競技大会や国民体育大会を契機としてスポーツ拠点施設を整備してきた。今後は、合併地域の施設整備も含め、地域間のバランスにも配慮しながら整備に努めていく。

河川の水質浄化（緑風会）

問 本市のスポーツ振興計画策定に当たっては、神辺町との合併によっては最大で、前方部と後円部の両方に横穴式石室があり、さらにはデザイン的には日本で出土例のない双龍環頭柄頭などが出土した。これほど貴重な遺跡は調査期間を延長し、未調査になつている前方

ると思われる。

また、今後のスポーツ施設の充実策はどうなっているのか。

◆関連質問

- ・芦田川の水質浄化へ総合的・抜本的対策の再構築を

問 芦田川水質浄化協議会で、瀬戸川の浄化策として水生植物を持つ自然の浄化作用を活用する方

問 本市のスポーツ振興策策定に当たっては、神辺町との合併によっては最大で、前方部と後円部の両方に横穴式石室があり、さらにはデザイン的には日本で出土例のない双龍環頭柄頭などが出土した。

通省が整備する植生基盤上に、ヨシ苗等の植栽などを市民と行政が協働して取り組み、市民の川の浄化に対する関心を高めるきっかけとしてはどうか。

また、本施設は水生生物などの増加も見込め、芦田川環境マネジメントセンター、川に学ぶ体験活動推進協議会と共同して、子どもたちの自然体験学習の場として

活用してはどうか。

答 国は今年度末より一部で試験的に整備に着手している。その際、植栽の実施や維持管理などを地域と協働して行うことが、市民の関心を高め河川浄化を一層進める方法と考える。

また、計画されている環境学習広場は、地域や専門家の意見も聞き整備されると聞いており、地域や関係団体と連携し、「自然体験学習の場」として活用されることで、芦田川の水環境のさらなる向上につながると考えている。

※双龍環頭柄頭：太刀の柄の先に施した飾りで、金銅製。2頭の龍が各々玉を口にくわえているデザインは、国内で初めて確認された。

アスベスト対策－石綿セメント管－（市民連合）

問 石綿セメント管の残存状況は、先の企業会計決算特別委員会の資料によると、2004年度末で1567メートルのこと。私たちとは、市民の不安解消へ補正予算も視野に、早期解消を求めてきた。今年度の取り組み状況や、なお残存する地域、延長、今後の完全解消への方針は。

答 石綿セメント管の2004年度末の残延長は、水呑町に192メートル、新市町に1375メートル。石綿セメント管を通過した水道水の安全性については、健康には影響がないとの厚生労働省の見解が示されている。今年度は370メートルを解消予定で、残り約1200メートルは2006年度末を目途に解消を図っていく。

- ◆関連質問
 - ・今後の処理対策について
(緑風会)
 - ・アスベスト対策について
(日本共産党)

一般・特別会計決算審査



決算審査風景

11月14日から18日まで、一

般・特別会計決算特別委員会が開かれ、16年度一般会計と13の特別会計並びに合併した沼隈町の一般会計ほかの決算認定議案について、予算が効果的に執行されているかどうかなどを審査しました。その結果、下水道会計を除く決算議案については、要望意見を今後の行政運営に反映させるよう求めて認定しました。また、継続審査中であった下水道会計については、12月16日、下水道工事に係る虚偽公文書作成に関する事案などを審査した結果、信頼回復と再発防止などの要望意見をして認定しました。

3月定例会の開催予定

2／28(火)	本会議（市長総体説明など）
3／6(月)	本会議（代表質疑）
7(火)	本会議（代表質疑）
8(水)	本会議（代表質疑、一般質問）
9(木)	常任委員会（総務、民生福祉、文教経済、建設水道）
10(金)	予算特別委員会
13(月)	予算特別委員会
14(火)	予算特別委員会
15(水)	予算特別委員会
16(木)	予算特別委員会
22(水)	議会運営委員会 本会議（委員長報告など）

- 本会議・委員会とも午前10時から開会予定です。
(ただし、3月22日の本会議は午後1時から)
- 詳しくは、議会事務局☎084-928-1136までお問い合わせください。

可決した意見書

議員提案による次の意見書を可決し、福山市議会の意思として、政策の実現に向け国会および関係省庁に送付しました。

詳しい内容は、議会のホームページでご覧いただけます。

- ◆万全なBSE対策の実施を求める意見書
- ◆子どもの安全な環境づくり対策の強化を求める意見書
- ◆公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する意見書
- ◆議会制度改革の早期実現に関する意見書
- ◆真の地方分権改革の確実な実現に関する意見書

請願の審議結果

皆さんから出された請願の審議結果です。

「公立保育所民営化計画の見直しを求める要望」について
(不採択)

「住環境整備と中小建設関連業者の受注確保を進め、地域経済活性化策の強化を求める要望」について(不採択)

【ホームページアドレス】 <http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/gikai/gikai/>

【メールアドレス】 gikai-shomu @city.fukuyama.hiroshima.jp

神辺町との合併



神辺町役場

12月定例会では、合併協議会での協議内容を踏まえて提出された予算・条例等の関連議案を審査し、すべての案件を賛成多数で可決しました。合併協議会は2月末で廃止されるととなり、合併への諸手続きも進み、3月1日に向けての準備が整いつつあります。

さらに、合併に伴う市議会議員増員選挙が執行され、3月19日には新たに4人の議員が決まる予定です。

平成の大合併で福山市は、人口約47万人の都市規模となり、備後地域の拠点都市として、今後議会の果たす役割はますます大きくなると考えています。

HOT・ホット／情報

福山市議会史第1・2巻を復刻

昨年7月の市議会史第3・4・5巻の発刊を機に、このたび1975年に発刊した第1・2巻を復刻しました。すでに販売予定の部数が残りわずかとなりましたので、ご希望の方はお早めにお申し込みください。価格は、1・2巻セットで1万円です。電話・FAX・Eメールで申し込む場合は、住所・名前・電話番号・部数・配送希望の有無が必要です。詳しくは、議事調査課までご連絡ください。



市議会史復刻本

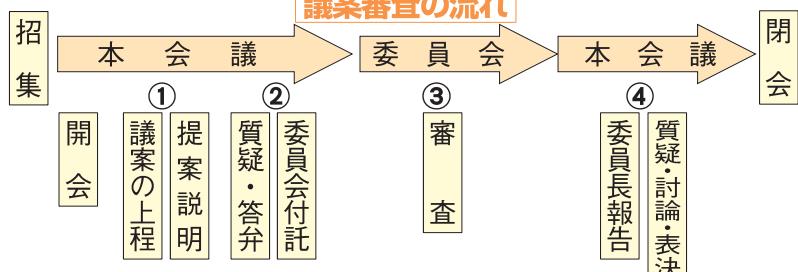
議会ミニ知識！

◆議案などの審査は、どのように行っているのですか？

- ①本会議の初日に、議長が議案・請願などを議題とし、市長や議員からそれらについて説明を受けます。
 - ②議案や市政全般について質疑、答弁を行った後、議案などをそれぞれ担当する委員会へ付託します。
 - ③委員会では、付託された議案・請願などを審査し、それぞれの委員会としての結論をまとめます。
 - ④本会議の最終日では、各委員会の審査結果について委員長報告を受け、意見を出し合い、議会の最終的な意思決定をします。(図の番号を参考にしてください)
- ※議案などのうち予算・決算議案は、提案されるたびに特別委員会を設置し、付託・審査しています。



議案審査の流れ



用語解説

上程：会議に議題としてのせること

付託：議長が議案などを所管する委員会に送ること

表決：議案などに対して、議会の最終的な意思決定を行う手段



(高田)

この議会よりを受け取られた市民の皆様が、読まれた後にますます市政に关心を抱かれるよう、編集委員会（副議長および各会派より選出された議員）一同、今後とも努力します。

編集後記

◆再生紙(古紙混入率80%・白色度75%)を使っています。

印刷/株式会社オフセット印刷所 ☎084-922-0280